



学校だより 7月

令和元年6月28日 横浜市立芹が谷南小学校

あいさつの輪を広げるために ～学校・家庭・地域の連携～

学校長 高木 篤子



「おはよう」「ってきます」ご家庭から一日のあいさつが始まり、通学路で見守ってくださっている方とあいさつをして、学校に着くと昇降口から教室まで明るいあいさつの声が響く朝。子どもの健やかな成長のために、学校・家庭・地域が連携してあいさつを大切にすることの価値を感じます。

永谷地区地域支えあいネットワークでは、昨年度11月に「あいさつをなぜするのか」を考え、3月に「あいさつが行き交う明るい地域を目指して」をテーマに話し合いました。その場で共有したことを基に、学校やPTAでの活動、地域等での実践のアイデアを出し合って検討しました。

関連して、芹が谷中学校区の地区懇談会では、「あいさつの輪を広げよう」をテーマに小中学生代表を交えて話し合い、芹が谷中・芹が谷小・芹が谷南小3校共に7月10・11・12日の3日間、学校・家庭・地域の連携によるあいさつ運動を行うことを確認しました。

本校では、6月27日に学校保健委員会を行い、「あいさつで広げよう 笑顔の輪」をテーマに、3～6年の児童代表18名で話し合いました。あいさつについてのアンケート結果を受け、どうしてあいさつは必要なのか各学級で話し合ったことを発表しました。「心があたたかくなる」「自分も相手もニコニコになる」「その日がんばる勇氣」「まちの人と交流でき、明るい気持ちになれる」「近所の人に顔を知ってもらえる」「困ったときに助けてもらえる」など、子どもの言葉であいさつのよさを伝えました。学校運営協議会会長 間宮様より、子どもたちはあいさつしているつもりでも地域の方に伝わっていないことがあるので、顔を上げて、顔を見て、声に出してあいさつするとよいこととお話いただき、元気よくみんなであいさつしていくよう子どもたちの意欲を高めていただきました。学校薬剤師 堀先生からは、自分から先手必勝で目を見てあいさつすること、家庭の中でのあいさつが第一歩とお話いただきました。気持ちのよいあいさつをテーマにしたグループワークでは、PTAより保護者12名の方々に子どもたちの話合いに入ってくださいことができました。

一連の取組により、学校・家庭・地域が連携を図り、あいさつの輪を広げていきたいと思えます。7月に行われる「あいさつ運動」の趣旨をご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

PTAより保護者・地域の皆様へ 「あいさついっぱい笑顔で見守るPTA」

芹が谷南小・芹が谷中・芹が谷小3校であいさつ運動を行います。本校PTAでは、次のように計画しました。保護者の皆様・地域の皆様、よろしかったらぜひ一緒にご参加ください。

日時: 7月10・11・12日 7時50分～8時10分(晴雨にかかわらず実施)

場所: 自宅付近の通学及び正門・裏門周辺(出席は取りません。無理なくご参加を。)



☆☆☆「おはよう」「いってらっしゃい」など、笑顔でのあいさつにご協力お願いします。☆☆☆